



T S U B A S A F

Transformational Start Ups' Business Acceleration for the SDGs Agenda

JICA 中南米部
2024年3月19日

日本発スタートアップの事業展開支援を通じて、 中南米・カリブの開発課題解決・SDGs達成に貢献

イノベティブなアイデア・技術・
ビジネスモデルを有する
スタートアップ企業



開発課題解決・
SDGs達成



スタートアップを取り巻く
エコシステム
(VC・大学・政府機関 等)

活発な成長市場



中南米・カリブの開発課題解決・SDGs達成への貢献は スタートアップにとってのビジネスチャンス

課題の大きさ = ビジネスポテンシャル

課題の大きさ

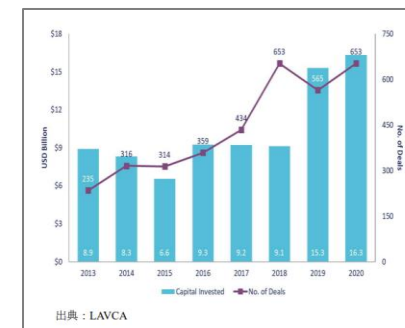
- 特定の領域では日本よりも課題解決のポテンシャルが大きい
- 例：森林伐採、保健、教育、治安

“課題先進国” 日本の強みが活かせる

- 日本と共通、日本が強みを有する課題が発現
- 例：高齢化、防災

魅力的な事業環境

スタートアップへの投資額



2020年
16.3億米ドル

経済的潜在力・共通した文化基盤

	中南米・カリブ	ASEAN
人口規模	6.4億人	6.6億人
名目GDP	5兆米ドル	3.3兆米ドル
文化的基盤	スペイン語 / ポルトガル語 ローマカトリック 日系社会	多言語 多宗教



Transformational Start Ups' Business Acceleration for the SDGs Agenda

日本のスタートアップと共に、
開発協力を次のステージへ

TSUBASAは、日本のスタートアップのイノベーティブなビジネスと、
JICAおよびIDB Labの強力なサポートを掛け合わせることで
中南米カリブ地域における開発課題の解決、SDGs達成への貢献を目指す、
オープンイノベーションプログラムです。

JICAとIDB Labの連携による取り組み



- JICA = 日本のODA実施機関
- グローバルで96拠点を保有
 - 南米では、23拠点を保有
- 日本国内にも14拠点を保有
 - 中小・SDGsビジネス支援等を通じて日本のスタートアップとの接点を保有
- 米州開発銀行（IDB）グループ = 中南米・カリブ地域の経済社会開発を促進する国際開発金融機関
- IDB Lab = スタートアップなどの民間部門による革新的な開発支援に特化した組織
 - ファイナンス、ナレッジ、コネクションなどの多面的な支援が可能

オープンイノベーションチャレンジ

中南米・カリブ地域の開発課題解決・SDGs達成に貢献するアイデアを選考

- 書類審査・ピッチ審査を実施

選考を通過した企業は支援プログラムへの参加が可能

- 2021年度: 23社応募、8社採択
- 2022年度: 29社応募、11社採択
- **2023年度: 18社応募、9社採択**

支援プログラム

中南米・カリブ地域での事業展開を支援する6か月の支援プログラムを提供

- JICA・IDB Labに加え
- B Venture Capital、
ドリームインキュベータが支援



中南米・カリブ地域への事業展開を6つの点から支援



**エキスパートによる
質の高いメンタリング**
(ビジネス・開発インパクト両面
からサポート)



**現地ネットワークの
紹介**



**渡航、通訳支援の
一部支援の可能性**
(進捗度に応じて条件付き支援)



**プログラム終了後のIDB
Labによる
追加支援の可能性**
(BtoB もしくは BtoC)



**プログラム終了後のJICA
による追加支援の可能性**
(BtoG)



**TSUBASAコミュニティ
への参加**

TSUBASA支援内容

Businessコース

対象企業 B to BまたはB to Cのビジネスモデルを前提にLACでの事業展開を検討

- 製品/サービスが商品化する前段階でも構わない
- 既にパートナーがおり、スケールアップをしたい企業についても支援を提供可能（要相談）

支援内容 Phase 1 : アイデアブラッシュアップ、パートナー候補特定（オンライン面談）

Phase 2 : パートナー候補とビジネスプランを議論（含渡航支援）※Phase 1完了企業のみ対象

ゴール 初期パートナーとビジネスプラン検討ができている

終了後の追加支援 IDB Labによる追加支援の可能性を検討

- Phase 2終了時点でIDB Labが検討可否を判断

Governmentコース

JICAが示す重点課題領域やJICA協力事業の効果増大に貢献するソリューションを有し、B to Gのビジネスモデルを想定する企業

- JICAが提示する領域や案件の該当企業のみ対象
- 既に国内外での実証が完了・販売実績を有するなど、ソリューションが確立済みであることが要件

Phase 1 : JICA協力事業との連携や相手国政府/政府関係機関との実証実施に向けたスキームの整理

Phase 2 : 相手国との協議支援（含渡航支援）

相手国政府/政府関係機関との連携可能性の確認ができている

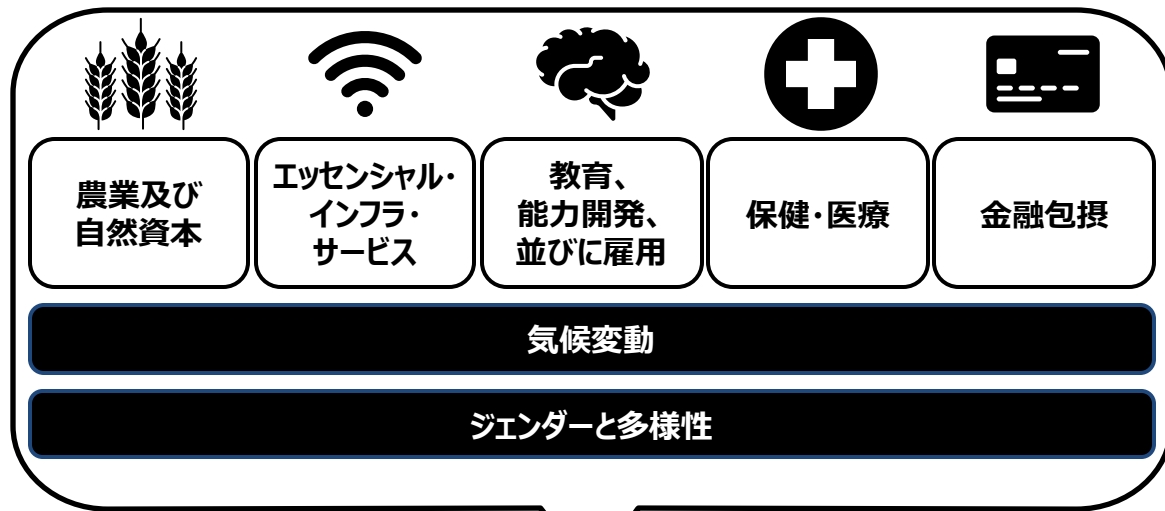
JICAによる追加支援の可能性を検討

- 支援プログラム終了時点で判断
- 但し、相手国政府が絡むため、実現まではBusinessコースに比べて相応の時間を要する点に要留意

重点分野（TSUBASA2023募集分野）

IDB Lab

IDB Labの重点分野
（他分野の応募を妨げるものではない）



新しい技術  ビジネスモデル

IDB Labは各重点分野において、革新的アプローチを有する企業からの応募を期待

- Silver economy、EdTech、AgeTech、FinTech、ClimateTech、GenderTech、AgTech 等

JICA

JICAが予め提示する国 × 開発課題に資するソリューション

※以下は2023年度募集例

①個別協力事業の効果増幅

- ボリビア「コチャバンバ県における統合水資源管理実践能力強化プロジェクト」（技術協力）

②個別協力事業に紐づかない革新的なアプローチの検証

- メキシコ×農業
- パナマ×農業
- 中米・カリブ×環境
- ドミニカ共和国×農業
- ブラジル×農業
- ボリビア×農業
- ペルー×農業／環境／交通等

2021・2022年度採択企業（計19社）

Healthcare



アルム（2021/チリ）



メロディ・インターナショナル（2022/ブラジル）



アドダイス（2021/ボリビア）



シンスペクティブ
（2021）



アクセルスペース
（2022）

Disaster



ユーカリヤ
（2022/ペルー・エクアドル）

Finance/SME



ミュージックセキュリティーズ
（2021/ペルー）



クレジットエンジン
（2022/グアテマラ）

Energy



チャレナジー（2021）

Agri/Nature



アールティ（2022）



サグリ（2022/ペルー）

Climate



サステナクラフト（2021/ブラジル）



アルタレーナ（2022/コロンビア）



グリーンカーボン（2022/コスタリカ）



トーイング（2022）

Infrastructure



栄組
（2022/メキシコ）

Water



WOTA
（2022/チリ）

Education



ダイビック
（2021/パラグアイ）

Security



シンギュラーパータベーション
（2021/ウルグアイ）

TSUBASA2021の成果： 支援プログラムをきっかけに、中南米・カリブへの事業展開を加速

アイデアの概要

DIVE INTO CODE

オフショア教育で南米にIT教育と雇用の機会を提供

参加の経緯

中南米での事業展開可能性の模索

成果

- パラグアイでのパートナー獲得
- アフリカと南米両輪でのビジネスモデル確立

その後

- パラグアイに渡航、現地接点拡大
- IDB Labの支援が決定（300,000ドル）
- 3年間で最大400人のプログラミング学習システムを実証中

ミュージック セキュリティーズ

中小事業者に向けた、共感に基づく新たなインパクト投資のプラットフォーム構築

既に中南米進出済の中、新規事業の可能性を模索

- 国の社会課題を認識し当初のアイデアからピボット
- ペルーでのパートナー獲得

- IDB Labの支援が決定（592,600ドル）
- パートナーとの合併会社設立が決定

アルム

AI診断PFを用いた眼科遠隔診療・乳がん早期発見サービス

既に中南米進出済の中、事業拡大可能性を模索

- ブラジルからチリに国をピボット
- チリの社会課題を認識し、事業内容を特定

- IDB Labの支援が決定（308,000ドル）
- プロジェクトマネージャを雇用
- 現地パートナーと実証事業をスタート

TSUBASA2021の成果： 支援プログラムをきっかけに、中南米・カリブへの事業展開を加速

アドダイス

Singular Perturbation

sustainacraft

アイデアの概要

腕時計型ウェアラブルIoTを活用した健康管理AIサービス

独自開発された犯罪予測モデルを用いて、ジェンダーに基づく暴力被害の防止を目指す

カーボンアカウンティングソリューションを通じて、持続可能な森林管理の促進と気候変動対策への貢献を目指す

参加の経緯

技術のテストベッドとしての中南米市場の模索

中南米での事業展開可能性の模索

中南米での事業展開可能性の模索

成果

- JICA・IDB Labを通じてボリビア・パラグアイでの現地コミュニティと接続

- ウルグアイでのB2Bのパートナー獲得

- ブラジルでのパートナー獲得

その後

- IDB Labの支援が決定（400,000ドル）
- パートナーとの契約締結
- ボリビアでの実証事業を開始予定

- IDB Labの支援が決定（400,000ドル）
- ウルグアイの女性の安全を向上させる実証プロジェクトを開始する

- IDB Labの支援が決定（400,000ドル）
- 現地での実証プロジェクトを開始する

TSUBASA2022の成果

	WOTA	メロディ・ インターナショナル	クレジットエンジン	栄組
アイデアの概要	小規模分散型水インフラによる水問題から解放された先進的住宅	モバイル胎児モニター iCTGにより世界中のお母さんに安心安全な妊娠・出産環境を提供	SaaSシステムを通じた個人・中小企業の債権回収業務の高度化及び可視化、遵法性・倫理性の強化に向けたDX化	圧力調整注入工法によるコンクリート構造物の長寿命化支援
TSUBASAの参加目的	中南米・カリブでの事業展開可能性の模索	既に中南米進出済の中、新事業のパートナー先を探索	サービスのローカライズによる中南米市場の模索	既に中南米への展開を模索する中、事業拡大可能性を模索
TSUBASAの成果	<ul style="list-style-type: none"> ● チリでパートナーを特定 ● 現地パートナーと共同でパイロットをIDB Labによる追加支援を申請予定 	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラジルでパートナーを特定 ● 現地パートナーと共同でパイロットをIDB Labによる追加支援を申請予定 	<ul style="list-style-type: none"> ● グアテマラでパートナーを特定 ● 現地パートナーとシステム構築に向けて検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ● メキシコを対象国として現地のニーズを調査 ● 提案が複数の現地パートナー候補より関心が示された



お問い合わせ

5r_tsubasa@jica.go.jp

TSUBASA特設サイト

<https://tsubasa-jica.com/>

